

学びのデザインシート（授業前）

主体的・対話的で深い学びを実現する授業構想【作業学習】

1. 対象 特別支援学校 中学部編み班

- ・年にⅠ、Ⅱ期の2回作業学習を行っている。毎年作業班のメンバーが変わるため全員が初めて編み班に所属する。
- ・認知面では、手順表を見ながら自分で製作活動に取り組める生徒から、補助具を使いながら教師と一緒に取り組む生徒がいる。
- ・主体性の面では、教師の発問に挙手をして授業に参加する意欲が高い生徒が多い。また、決められた場所に道具や材料を置いておくことで、自分から準備をして活動に取り組もうとしている。

2. 単元名 「任せて！作るよ！届けるよ！」（全34時間）

3. 単元で育成を目指す資質・能力

知識及び技能	・どのような製品が喜ばれるか（使われるか）理解し、製作の手順や喜んでもらえる製品作りのポイントが分かる。
思考力、判断力、表現力等	・相手に使ってもらえるためには、どのような製品を作れば良いかを考え、製品作りをすることができる。
学びに向かう力、人間性等	・自分の活動が分かり、使ってもらえる製品になっているか確かめながら時間いっぱい活動に取り組んでいる。

4. 授業展開【 本時 ・ 単元 】

解決したい課題や問い

任された製品を作って、届けよう

考えるための材料

・自分で確認しながら織り進められる教材教具

・顔写真付きの出来高ボード

・自分たちで製品を使って見る機会

想定される活動

・手順が分かる色テープを見ながら、機織り機を使ってアクリルたわしを作る。
・手順表に丸を付けながら取り組む。

・「〇〇さんのために作る。」と目的意識をもつ。

・製品を使ってみることで、製品の魅力に気付く。

対話と思考（対話を通じた協働的な問題解決のプロセス）

・自分たちが作った製品を使ってみて、どのように思ったのか班内で共有する。
→アクリルたわしで水道を掃除するとピカピカになる。
⇒製品に対する愛着や自信が向上し、製作意欲につながるのではないか。
→いろいろな大きさがあると良いのではないか。
⇒生徒主導で製品改良につながるのではないか。

学習の成果（予想される生徒のあらわれ）

・作る相手を意識しながら、製作する姿
「まだ〇〇さんのクラスに作っていないから、次に作ろう。」「出来上がった製品を届けたい。」